

会 議 録

会 議 の 名 称	平成24年度 第1回地域協議会
開 催 日 時	平成24年5月30日 午後3時から
開 催 場 所	日新館 市民ホール
出席者氏名	委員 17（名） 佐藤政一、佐藤允尚、土田稔、正木正（会長）、大井仁史、佐藤伸一、佐藤公、土田克夫、土田長夫、土田典子、茂木保、小番けい子、佐藤孝義、佐藤久美、豊島一郎、菅原賢一 （矢島総合支所） 由利本荘市 9（名） 総合支所長 佐藤晃一、建設課長 佐々木聡、市民福祉課長 佐藤勝一 教育学習課長 佐々木正人、産業課長 三浦進一、産業課参事 植村俊一 （事務局・・・振興課） 振興課長 伊豆葵、課長補佐 三森隆、主席主査 三浦浩喜
欠席委員氏名 13（名）	五十嵐徳、小沼文夫、佐藤洋一、小番より子、佐々木知榮、佐藤系悦、原田浩司、茂木昭二郎、茂木美寶子、伊豆秀一、岸田良子、佐藤寿美子、佐藤嘉孝、蒲田則夫
会議次第	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 報告事項及び連絡事項 4. 協議 5. その他 6. 閉会
会 議 の 経 過	別紙のとおり

平成24年度 第1回 矢島地域協議会

1. 開 会 15:00～(進行:伊豆振興課長)

2. 会長あいさつ

●会長

皆さんお忙しい中ご参会いただきありがとうございます。

本日は平成24年度の第1回の矢島地域協議会となります。先月5月25日(金)に幹事会にて本日の案件について協議を致しました。それを受け今日皆様にお図り致します。また、今年は市職員の人事異動のため総合支所長はじめ本協議会を担当する振興課職員も大幅に入れ替えになっております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今回は報告事項及び事業紹介としては昨年度の地域づくり推進事業の報告、近日実施される今年度の事業紹介、地域づくり推進事業ではありませんが、「鳥海高原菜の花まつり」や「桑ノ木台湿原一般開放」等、矢島地域の枠を超え市を代表することが期待される事業の紹介を予定しております。

また、協議事項としては「矢島まちづくりビジョン(案)の検討」をお図りします。今後の矢島地域をどのような地域にしていきたいか、そのための具体策としてどのような事業を要望するのか、今年度中に協議してまいりたいという概要であります。これは平成27年以降の次期市総合発展計画への地域意見の基礎となるものと考えており、委員皆様には大変ご難儀をおかけいたしますが、その趣旨をご理解いただき、斬新な考え方を伺いたいと考えております。

その他の事項としては「在京矢島会設立55周年記念ふるさと訪問団」の計画についてであります。

本日は多数の案件がございますが、委員皆様のご理解を得ながら協議を進めてまいりたいと考えております。ご協力よろしくお願いいたします。

2. 総合支所長あいさつ

●佐藤総合支所長

委員皆様、お忙しいところ御出席いただきまして誠にありがとうございます。ただいま会長からご紹介ありましたとおり、この4月1日より矢島総合支所長として着任させていただきました佐藤晃一と申します。皆さま方には大変お世話になることと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、4月着任早々4月3日から4日にかけての暴風被害がございました。被害に遭われました皆様方に対しましては心からお見舞いを申し上げたいと思います。

市としましては4月26日臨時議会を開催いたしまして所要の予算を議会にて、速やかに承認頂き、ただいま復旧のために全力を挙げて取り組んでいるところでございます。

正木会長の挨拶にもございましたとおり、今回の地域協議会内容は、事業報告事項やこれからの事業紹介、協議事項として「生活バス路線確保(桃野線)」や「矢島まちづくりビジョン(案)の検討」と多数ございます。

特に「矢島まちづくりビジョン(案)の検討」については、今後の矢島のまちづくりの考え方あるいは望む方向といったようなことについてご議論いただきたいと考えてございます。市では合併した平成17年度から平成26年度までの10年間は「由利本荘市総合発展計画」に沿って

事業を進めており、平成27年度以降の次期総合発展計画に対して地域の様々な課題について、今後の矢島のまちづくりの考え方あるいは望む方向といったようなことについて、ご議論いただきたいと考えてございます。

最後になりますが、国道108号には前杉バイパスに2つの橋桁がつながりました、桑ノ木湿原は6月1日から一般開放になり地域の新たな観光資源としての利活用を図れることとなりました。由利高原鉄道には新型車両が導入されました。新しい矢島の形がこれから出来てくるものと思います。活力のある安心な地域作りを目指して、この地域協議会の委員皆様と共に取り組んでまいりたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

3. 報告事項及び連絡事項

①報告事項

●伊豆振興課長

4月より振興課長として地域協議会を担当いたします伊豆葵と申します。改めて委員皆様にお世話になります。よろしくお願いいたします。

それでは報告事項についてご説明いたします。委員皆様に昨年度ご審議いただいた今年度の地域づくり推進事業が10事業ございます。その中の3事業について進捗しておりますので報告いたします。

最初に「第10回矢島茶会」が5月13日（日）に開催されております。13日は約270名の方が矢島を訪れまして茶会を楽しんでいただいております。この茶会には委員皆様御存じのとおり遠州流家元がお越しになって、翌14日（月）には、矢島中学生・矢島高校生205名が中高連携校で家元からお茶の手ほどきを受けております。また矢島小学生115名は龍源寺にて邦楽演奏を拝聴し、地域にゆかりのある日本の伝統文化に触れております。

続きまして「鳥海山フェスタ」が5月3日（木）から5日（土）にかけて開催されております。3日（木）は天寿酒造にて「酒蔵ライブ」を行なっております。4日（金）は鳥海山猿倉口登山口周辺で「SNOW SURF MEET in 鳥海山」としてトレッキングツアー等のスノーイベントを行っております。当日は悪天候の中でしたが無事実施して大変好評を得ております。5日（土）は天候が更に悪化し、この日のイベントは中止となっております。悪天候のため参加者は延べ280人でしたが、うち8割が県外客であり矢島地域周辺の宿泊施設に宿泊されたとの報告を受けております。

それから友好都市であります香川県丸亀市にて開催される「丸亀お城まつり」での観光宣伝事業であります。5月3日（木）から4日（金）に実施されています。これについては由利本荘市観光協会矢島支部役員4名が出席し、市からも藤原副市長、渡部市会議長の2名が招待され参加しております。「丸亀城下町大物産展」で秋田由利牛を使用した「あきたこまちカレー」、「地酒」、「虎の子饅頭」、「ジャージー乳製品」などの宣伝、試食、販売を行なっております。

地域づくり推進事業の報告事項は以上になります。

②連絡事項

●振興課 三浦主席主査

振興課三浦浩喜と申します。「平成24年度土砂災害全国統一防災訓練」についてご説明いたします。こちらは毎年時期を統一して「土砂災害に対する警戒・避難体制強化と防災意識向上の取り組み等」を目的に全国各地で行なわれております。平成24年度は矢島地域水上を会場に行なわれることとなっており、6月3日（日）の9時から12時に訓練を行う予定であり、この間水上地域は車両通行止めになります。

訓練目標は、国・県・市・警察・消防等々関係機関、それから現地住民が災害発生時に速やかな連絡、対応、連携の体制を整えることになります。

訓練設定は、大雨により水上地域の裏山崩壊の危険性が高くなった想定の内容に対応する内容になっております。訓練は9時から開催し、最初に現地での災害に対する対応、それから避難場所となっている矢島小学校体育館への住民の速やかな避難誘導、その後に防災学習が行なわれます。防災学習終了後解散ということで午前中に終了する予定となっております。

土砂災害訓練については以上になります。

●三浦産業課長

今年4月に産業課長に就任いたしました三浦進一と申します。よろしくお願いします。それでは観光事業の紹介をさせていただきます。

一つ目は「鳥海高原菜の花祭り」になります。開催期間は、5月26日(土)から6月3日(日)までということですので始まっております。この行事は鳥海高原菜の花祭り実行委員会が主催し、由利本荘市が後援している行事で、矢島町桃野を会場に今回が3回目の開催となります。鳥海山を背景にした約10ヘクタールの菜の花畑は素晴らしい光景となります。只今回覧している写真は5月27日(日)に撮ったもので大変見ごたえのある風景になっております。

なお、開催期間中の平日は会場に一般車両の乗り入れができますが、2日(土)と3日(日)は一般車両の乗り入れはできません。来場者は「南由利原青少年旅行村」か「矢島駅」から「花立牧場公園」を経由する無料シャトルバスを利用することになります。

二つ目は「桑ノ木台湿原一般開放」になります。桑ノ木台湿原は花立牧場公園から鳥海山矢島口祓川に登っていく途中、道路左側に旧営林署鶯川事業所がある付近になります。高層湿原として貴重な動植物が生息している所ですが、鳥海山を背景にワタスゲやレンゲツツジが咲く美しい風景から写真愛好家の方々等の踏み込みにより、湿原が荒廃し始めておりました。その保護のため営林署等との連携し、ここ数年は立ち入りを禁止しておりましたが、昨年湿原の中に木道が整備され、6月1日(金)から一般開放する予定になります。

特にレンゲツツジの咲く6月頃からワタスゲが咲く7月まで写真を撮りに来る方が多くなるということです。付近に駐車スペースが少ないこと、車道から湿原までは約3km程徒歩になることから無料シャトルバスを運行する予定ですが、運行管理する観光振興課には旅行会社から事前申込が多数あり、6月は大型バス23台およそ700人の申込ということです。

以上で観光事業の紹介を終わります。

●会長

ありがとうございます。土砂災害訓練は地域の方々に協力を願わなければならないということであります。「鳥海高原菜の花祭り」について現在の来客者の状況はどうか？

●三浦産業課長

26日(土)は約2千人、27日(日)は約4千人と聞いております。27日(日)は会場にりましたが、シャトルバスがひっきりなしにすぐ満杯になって出発するという状況がずっと続いておりました。6月2日(土)、3日(日)も同程度かそれ以上と見込んでおります。

●会長

桑ノ木台湿原は幹事会にて地域協議会でも地元の観光資源として整備された現在の状況を一度視察する必要があるのではないかと意見がありました。現在の状況から6月20日前後が花も人もピークとの予測ですので、今唐突にした話ですので後日でも結構です。色々御意見をいただきたいと思っております。

●伊豆振興課長

会長からの地域協議会での桑ノ木台湿原視察のご提案ですが、委員皆様が視察を実施したいという意向であれば、事務方で準備を進めますのでご検討をよろしくお願いします。それから「菜の花まつり」であります。由利高原鉄道で5月27日(日)40名のツアーを企画しましたが

満員、6月2日（土）3日（日）もそれぞれ40人募集しておりましたが、それも満杯で断わることが続いている状態と報告を受けております。以上です。

●会長

地元の事業にすごい反響があることは非常にうれしいことであります。「継続は力なり」と申します。こういう企画が継続されればと思います。それでは桑ノ木台湿原視察については実施する方向でよろしいでしょうか。

それでは実施に向け準備し改めて皆様にご連絡差し上げます。

4. 協議

●会長

それでは協議に入ります。最初に「平成25年度に向けた提言のとりまとめについて」考え方等も含めて趣旨説明をお願いします。

●伊豆振興課長

私からご説明いたします。昨年度も実施しておりますが、委員皆様から色々ご提案いただいております。その提言について各支所と本庁各課で協議し回答しております。本年も現在委員3名からご意見をいただいております。委員皆様から地域の活性化に対して今後ともご意見いただきたいと思います。

●会長

この件については幹事会にて締切日を延長し今後の協議会にて地域環境の課題を見つけ次第に協議していく旨確認しております。よろしくお願いします。

それでは2番目の生活バス路線桃野線の件について説明願います。

●伊豆振興課長

桃野線の件について説明いたします。桃野線の路線バスは平成11年に廃止になり代替として一般住民も混乗しながらスクールバスを運行してまいりましたが、今年4月に桃野、谷地沢、濁川、熊之子沢地域から小中学生がいなくなり、スクールバスは廃止を余儀なくされております。このため今年3月15日に関係する4集落の代表者会より支所宛てに生活路線バス確保の要望書が提出されており、4月より市でバス運行の検討を行なっております。

検討内容については資料のとおりであります。市では10月にコミュニティーバスの運転開始を目指し、それまでの7月～9月については無償運行を実施するという検討案で4月26日所管する市議会総務常任委員会に報告しております。

概ねこの方向で審議いただき、6月の定例会に7月から9月までの運行について補正予算を要求して、現在審議されているところでございます。8月には由利本荘地域の公共交通活性化協議会の有償バス運行コミュニティーバスの計画を承認、9月定例会には関連する条例改正案と補正予算を上程し、10月から片道200円の有償バス実証運行をする方向で現在計画しております。

以上のとおり現在計画の進行状況を報告いたします。

●会長

この件について何かご意見、ご質問ありませんか。

●A委員

今年の3月時点でスクールバスが廃止になることは明白で、その上で10月までのタイムラグができてということですね。去年の段階でご説明いただいた手段はできなかったんでしょうか。スクールバスも条件があったとは思いますが、本来は切れ目なくそこで切り替えなるような形にすべきではなかったんでしょうか。スクールバスに乗る地域の人達にあまり需要がなかったなど色々な事情があったんだと思いますが。

●会長

A委員と同様の意見は当時もあったんですか。当時の経緯をお願いします。

●伊豆振興課長

教育委員会でスクールバス廃止を関係地区集落、父兄に通知し、それにより関係集落から3月15日に要望書がでて検討を始めております。A委員のご意見はまったくその通りであり、スムーズに4月から運行する形にできれば良かったのですが、要望時期と予算時期の関係から現在の状況になったとご理解願います。現在の最善の方法として7月から運行する方向で調整しております。以上です。

●会長

A委員以上の説明でご理解いただけますか。

●佐藤総合支所長

私から補足説明させていただきます。さきほど振興課長が説明したとおり切れ間なく4月から運行していきたいと本庁関係部局、市長、副市長、議会に説明しております。その際に市全体の整合性から7月からつなぎ運行、10月から実証運行という方向になっております。今後は10月からのコミュニティーバス運行を目指して具体的な試運転をしながら、お客様の乗降、運行経路、便数、運行時間といった課題の具体的な素案を検討していく予定ですが、沿線住民の方々と説明相談をしながら効率の良いそして乗客を十分に確保できる路線となるよう計画を調整していきたいと思っております。基本的には終点を矢島駅にし、そこからは列車も利用できるような形にと考えているところであります。コミュニティーバスについては各地域からも要望があり、中には要望により運行したが乗客が少ない路線もあることから、地域の需要を十分に見定めながら計画を作っていく予定であります。また10月からのコミュニティーバスは国あるいは県から補助が入ってきます。この補助をもらうために空気しか運ばない状況では駄目になりますので、1日1台あたり何人以上の乗車が確実であるということを7月からも運行の中で実証していかなければならないことであります。こういった状況をよく説明しながら地域の皆様のご協力を得て運行内容を検討していく予定であります。以上です

●B委員

同じ案件になります。7月からつなぎ運行するとのことで努力を評価していますが、平成11年に花立線路線バスが廃止された時は色々な条件があったと推測されますが、対象の小学生がいなくなりスクールバスが廃止になることは数年前から解っていた事態で地元から要望が出る前に地域のニーズを汲んでやっていただくように今後お願いしたいと思います。

●佐藤総合支所長

まったくそうだと思います。そういった観点からもうひとつの議題についてもご協議いただきたいと思います。

●会長

他にございませんか。なければ次に移りたいと思います。矢島地域のまちづくりビジョン(案)の検討について説明をお願いします。

●振興課 三浦主席主査

矢島地域まちづくりビジョン(案)の検討について説明させていただきます。これは簡単に申しますと由利本荘市の中の矢島地域がこれからどういった方向に向かっていくべきかということ地域協議会の皆さんを中心に外部委員も交えながらご協議いただき、ご意見を出していただくということでございます。

由利本荘市の施策の基本計画となります総合発展計画は平成26年度に終了し、平成27年度からは次期総合発展計画により市の施策を計画、実行していく予定になります。来年度予定される計画策定作業に向けて今後の地域の考え方を地域住民の意思として地域協議会を中心まとめ

ていこうという趣旨でございます。

具体的には議論する課題が広範になることから協議分野毎に専門部会を設置し地域協議会の委員皆様を中心にし、専門的な意見が必要なケースも想定されますので新たに各分野の専門委員を委嘱し協議していただきたいという案でございます。資料には各分野毎の追加委員の案を提出させていただいておりますが、これで決定ということではなく、こういった外部委員が期待されるかはそれぞれの部会でご協議いただき、本人の内諾を得てから委嘱するというところでございます。また、協議案件についても協議の中で新たな協議案件が出てくることも十分想定されます。その際は追加していただきご協議をお願いいたします。以上、概要説明になります。

●伊豆振興課長

私から補足説明させていただきます。資料のとおり議論する分野と協議案件の案、各分野を担当する主管課を提示しております。先ほどの説明とも重複いたしますが検討課題と追加委員は決定ではありません。あくまで素案として捉えていただき、部会で議論いただき決定していただければと考えております。

部会については1課が1分野を担当する予定であります。産業分野については農政から観光までと分野が広いことから2部会を設置する案となっております。商工観光分野は産業課商工観光班が、農林畜産分野は産業課農林水産班が主管する予定であります。

協議方法については地域協議会委員皆様に6分野の各部会に5名ずつ分かれていただき、最初に関係機関団体や専門家等の新たな委員を3名程度選んでいただき、各部会を組織し、ご協議を進めていただきたいと考えております。

主管課の役割は、議論のたたき台となる課題について必要資料の準備と説明、各部会の意見とりまとめ、各協議案件の回答書作成を行なうという予定になっております。以上です。

●会長

この案件については先般の幹事会で協議のうえ協議案件等を整理し、本日委員皆様に提示しております。説明にありましてとおり協議会委員の他に新たな委員を委嘱する予定であります。これは広く専門分野の意見を聴きたいという観点からでありまして、確定ではありませんが、色々なご意見を素案に活かしたいということでもあります。

部会委員の人選については委員皆様の意向を聴き希望の部会に参加いただくのが本来の筋であります。私と幹事会そして事務方との協議の中でたたき台として委員皆様の日頃の活動分野を考慮し、6部会の人選を提案しているわけであります。委員皆様にご異論がなければ提案した人選で進めさせていただきますが、こういう分野に行きたいということご意見があれば調整することとして提案しております。委員皆様にご了解を得ないままに素案を作成、提示したことをこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

今後のスケジュールから、本日の協議会にて部会長と副部会長は選出し体制作りを進めたいところであります。部会は各分野毎にご協議を進めていただく予定でありますので、提示された協議案件で落ちている部分がありましたら、今日提示されたことですので急に思いつかないとは思いますが、思いついた点についてご提案いただきたいと思います。

●C委員

都市計画・道路・河川・上下水道分野の検討課題として地域特性を生かした流雪溝の再整備と有効活用の検討とありますが、これに除排雪等も入れたほうがいいと思います。高齢化が進んで流雪溝になかなか投げられないという地域も増えてきているようです。今後の検討課題に入れていただければと思います。

●会長

対象課題になると思いますね。ほかにありますか。各部会の人選は先ほど申し上げたとおり委

員皆様の意向は反映できておりません。ご意見ありませんか。

●佐藤総合支所長

さきほど会長から説明いただきましたが、部会の開催スケジュールについて補足説明させていただきます。

●伊豆振興課長

私から開催スケジュール案について説明いたします。本日の地域協議会になりますが、5月にこれからのまちづくりビジョンの検討方法を検討していただいております。来月中頃に再度地域協議会と部会を開催し、各部会にて検討課題の決定と新たな委員の人選決定をしていただき、それからは各部会毎に協議を開始していただきたいと考えております。開催回数は3回程度としており、協議内容等により開催回数が異なることも想定されますが、9月末までに各部会で各分野の素案をまとめていただき、10月の地域協議会にて各分野の素案を報告し、全体の素案のとりまとめを進めたいと考えております。これを受けそれ以降に素案の確認のため再度部会が必要になることも想定されます。以上のようなスケジュールを経て、平成27年度以降の総合発展計画に向けた矢島地域のまちづくりビジョン素案を作成し、提案してまいりたいと考えております。

併せて地域づくり推進事業の審査の確認もここで行ないたいと考えております。3月には例年行なっております次年度主要事業の説明を予定しております。以上が現在想定しているスケジュール案であります。

●会長

部会を設置して検討する必要性とその内容、考え方について説明がありました。部会での協議に入ってから気づく新たな検討課題もあると思います。それらの課題は部会で協議いただき追加していただきたいと思います。説明ありました検討方法で進める方向でご了解いただけたでしょうか。

●D委員

追加委員は各部会の判断に委ねて必要な方を委嘱するという理解でよろしいでしょうか。資料にある各部会の検討課題を見ますと別なようでありながら内容的には同じ検討課題であるものがいくつかあるようです。各部会で意見の方向性がばらばらにならないような形で調整する必要があるように思えますが、スケジュールでは調整がないようにですがいかがなものでしょうか。

●佐藤総合支所長

建設的なご意見をいただきました。確かに商工観光分野、農林・水産・農業・林業・畜産分野等重複する検討課題があるかと思います。部会を運営していく中で合同部会を開催し意見交換、情報交換をする等の進め方もあるかと思います。それは今後協議していく中で状況を勘案しながら、委員皆様の具体のご意見をいただきながら検討してまいりたいと思います。それから各分野ごとの検討課題（案）ですが、それぞれの課ごとに作成した資料でありまして表現に統一性がありません。課題設定の表現についてもこれから各主管課で再整理しまして、委員皆様に試算や統計等のデータが入った資料を準備しながら部会に対応していきたいと思います。

加えて市の総合発展計画、冒頭申し上げましたが平成26年度で終了し、平成27年度以降は新しい計画になるわけであります。

今後の財政状況の見通しとしては、地方交付税は現状合併前の各町がもっていた交付税満額をもらっておりますが、平成27年度以降段階的に削減されていきます。現段階の予定では平成32年度で40億円程度削減されることになります。合併特例債は平成26年度まで許可期間でしたが、平成32年度まで5ヶ年間延長することに決定しております。公債費率は計画通り改善してきている。

こういった財政状況も視野に入れながら、矢島地域の社会資本の整備について幹事会の皆様と

ご相談し、本日委員皆様にご説明したとおりこの地域協議会を主体として議論を進め、それぞれの課題について方向性をとりまとめていただき、矢島地域の方向性や施策を検討していく上で活用してまいりたいと考えておるところです。以上です。

●伊豆振興課長

ご質問の追加委員、専門委員の選任はどこでやるのかとご質問ありましたが、これについては最初の各部会にて人選いただきたいと考えております。以上です。

●E委員

各部会を開催してから検討課題を決めてもいいのではないかという発言がありました。私も同感でしたが、検討課題によって追加委員が決まってくることもあります。ある程度検討課題を現段階で決定しておく必要があるのではないのでしょうか。

次に説明内容の確認ですが、これから取り組もうとしている矢島地域のまちづくりビジョンは市の総合発展計画とは別のもので矢島地域独自の次期計画ということですか。平成27年度からいつまでの何年計画でしょうか。それによって検討課題が違ってくると思います。回答願います。

●伊豆振興課長

平成27年度からの次期総合発展計画については企画調整部でとりまとめる予定で、今年から計画作りに入る計画になっております。その際には各地域から意見聴取する予定になっておりますので、その意見聴取に向けて矢島地域では、先に広く住民のご意見を伺っておき、新しい平成27年度から次期計画に少しでも反映させるようにしたいという狙いがあります。

計画期間については次期総合発展計画も現行計画期間と同じく、平成27年度からの10ヶ年計画と思われます。

●佐藤総合支所長

計画となれば計画期間が設定されるわけですが、今回の協議案件はまちづくりビジョンという名称を使わせていただいております、委員ご指摘の総合発展計画と関連する取組と捉えているわけであります。

総合発展計画の本格的な議論は来年から始まり、平成26年度の12月議会か3月議会で基本構想、基本計画、実施計画等の議会承認を経て次期計画を実施していくものと思われます。逆算すると平成25年度に本格的な計画、事業の検討が議論される予測です。矢島のまちを今後どういう方向にしていくかという考え方をきちっとしておかないと具体的な事業検討に入った際にそれぞれ個別の分野の範囲の議論だけに終始して、最終的に各課題事項、事業計画の結びつきがよく議論されない形でまとめあげられるといったことも考えられます。

そういった観点から今年度からまちづくりという大きなテーマの中で方向性を議論してまとめていく必要があります、その取組をビジョンという名称で行うと捉えていただきたいわけであります。以上です。

●E委員

ただいま説明いただきましたが、どういう案件についていつまでの計画を作るのか判然としない状況で検討するのは難しいことではないかなと思います。

例えば10年計画であれば矢島でも限界集落問題が必ず出てくると思います。それに付随して入会権の問題が必ず出てくると思います。その集落にだれもいなくなっても入会権の収益の権利があるのかないのか等、そういった問題が出てくると思います。それから矢島は3～4ヶ月程度の冬期間は雪の中です。流雪溝に限らず投棄場の確保、除雪等あるかと思います。平常時はいいのですが有事の際の対応は体制が十分に整備されていないと感じます。あるいは自主防災組織あり方について防災にはその土地土地の状況があると思います。

部会の議論が進みやすいように検討課題の提示や差し迫った問題だけでなく長いスパンでみ

た場合の検討等していただければありがたいなと思います。

●佐藤総合支所長

E委員の意見はまさしくその通りだと思います。次期総合発展計画もおそらく平成27年度からの10ヶ年計画と思われます。私共としても人口推計や年齢構成や財政予測等、今後10年の予測されるデータを出し、矢島地域の組織体制や防災における噴火対策等を部会で議論していただければ実りあるビジョンになると期待しているわけであります。よろしくお願いします。

●会長

E委員のご意見のように普段の生活の中から議題を見出すことも多々あると思います。事務方から提案された検討課題以外も加えて議論の対象にさせていただきたいと思います。こういう考え方で進めていいでしょうか。

●F委員

確認です。農業林業畜産分野に商工会矢島支所が入っています。農商工連携を考えてここに入れたのでしょうか。

●三浦産業課長

農商工連携、例えば野菜王国に関して商工分野からの意見を期待してお願いしたいということです。

●F委員

わかりました。先ほどの説明とおりの部会で人選します。

●会長

他にご意見ございませんか。なければ部会を設置し新たに委員を選任し、まちづくりビジョンを検討していく方向で進めたいと思います。よろしいでしょうか。

それでは部会の運営についてたたき台を示させていただきます。本日は委員全員が出席しておりませんが方向性を見出したいと思いますのでご協議をお願いします。

矢島地域協議会の委員定数は30人ですので6部会に分かれる5人づつとなります。各部会5人の委員を資料にあるとおり選ばさせていただきました。各委員で希望する分野があるかと思いますが、部会に所属いただき中心的な役割で運営にご協力いただきたいと思います。部会の配置についてはいかがでしょうか。検討課題については資料に提示した以外にもかなり出てくるとありますが、先ほど説明にあったように歓迎したいと思います。

●A委員

私も含めて各委員は団体等を代表する立場で参加しています。異論があるということではないのですが、例えば私は商工会でも観光協会でも何人かの委員と同様の立場にあります。各委員は様々な団体で同様の立場にある者であることは間違いないので、一人動かすと皆動かさなければならないことになりかねないと思います。あまり専門分野に限らず多種多様な意見を求めるということで調整していいのではないのでしょうか。各委員が所属団体の代表であることは間違いないので、各委員の意向もあるでしょうが事務局と部会で検討していただければなと思います。

●会長

A委員のご意見は建設的だと思います。ご意見のとおり配慮したいと思います。

●総合支所長

A委員のご意見理解できる部分も多分にあります。率直にお聞きしますと委員は希望部会がありますでしょうか。

●A委員

特に希望はありませんし、提案された部会を変更して欲しいということも無いです。

●佐藤総合支所長

ご自身の配置ではなく、各委員が希望部会を調整できるのであれば配慮いただきたいというご意見ですね。

●会長

今回で部会を設立したいと思います。各部会の正副部会長選任までいきたいと思います。

●E委員

追加委員の人選等の詳細は各部会に任せるとのことですが、基本的な考え方は地域協議会委員以外にも関係する分野の委員をお願いしながら議論していく趣旨だと思います。地域協議会は各分野の代表する方々が集まっているという先ほどのご意見もあり、そうすると部会を設置してもあまり変わらない気もします。どちらを優先すれば良いのか教えいただきたいと思います。

●会長

説明をお願いします。

●伊豆振興課長

部会を設置し議論する理由は地域協議会で協議を行うと時間の制約もあり検討する分野や検討課題が多数になるため広く浅い議論になってしまう懸念があることであります。

委員皆様がそれぞれの団体や行政協力委員を代表するという立場で専門的な委員も交え、部会の議論の流れと考え方の方向性などの計画を作っていただきたいと考えております。

●F委員

例えば私は観光協会の代表として地域協議会に出席しています。新たに観光協会から専門的な委員を選任すると私以外のもう1人を観光協会から選任するということですか。

●伊豆振興課長

観光の中には特産品やお土産、誘客とか様々な分野があります。それぞれの得意分野でご意見いただき、矢島の良さを次期計画により反映できればという案ですので現委員を否定するというものではありません。ご理解願います。

●佐藤総合支所長

私からも補足させていただきます。今日の資料のとおり追加委員(案)を提案しておりますが、提案した団体からすべからず来ていただくということではありません。どこから来ていただくかは再検討が必要だと思います。例えば農協から委員を選任すれば農協の情報やデータを出してもらえという利便性もあると思います。商工会から委員を選任すれば市商工会全体のお話を伺うことも出来ると思います。そういったような観点でこの部会にはこの団体から参画いただきたいといった議論を部会の中でしていただければという意味であります。あるいは別の団体の参画等ご意見あればそれもまとめていただければといった意味合いでの資料の内容であります。ご理解いただきたいと思います。

●会長

今日部会に該当する欠席者、例えば福祉・医療分野は4名、教育分野では2名、商工・観光分野も3名、農林畜産分野も1名、振興分野も1名、建設分野2名は、こういう形でも所属部会を決めるところまでいってもよろしいでしょうか。

●A委員

確認させてください。例えば今日も全員が集まってません。欠席者が多い現状ですので実際部会を開催することになれば日中の開催には限界があると思います。逆に夜の方が駄目という委員もいるかもしれません。事務局的に開催時間に柔軟に対応可能ということではよろしいですか。

●伊豆振興課長

A委員のご意見については部会の主体性にお任せしますので、我々事務局は部会に合わせた行動をしていくということで理解していただきたいと思います。

●佐藤総合支所長

A委員からご指摘いただいた事は今日中に方向付けしていかないと先に進めない事柄であります。

具体的な提案になりますが、同じ団体に所属するG委員とH委員が同じ部会に参加願う案となっています。G委員は商工観光分野にご参加いただき、H委員は農林畜産分野にご参加いただき、双方から農商工連携をご協議いただく形で両課長と相談しましたが不都合ありますでしょうか。

●会長

佐藤総合支所長から提案ありました件について調整したいと思います。ご了解いただけますでしょうか。よろしくお願いします。

今回は欠席委員もおりますが、部会を設立しないと今後の動きがとれないこととなりますので、出席委員の協議検討で部会を設立していきたいと思います。ご了承願います。では各部会の設立に向け、正副部会長等をご検討いただけないでしょうか。暫時の間休憩いたしますして所属する委員皆様で正副部会長を選任いただきたいと思います。

●伊豆振興課長

各部会で担当課がありますので分かれてお集まりください。よろしくお願いします。

●会長

各部会で正副部会長を選任した委員を主管課から報告願います。

●佐藤市民福祉課長

福祉医療保健部会は部会長に小沼文夫委員、副部会長に豊島一郎委員を選任いたしました。

●佐々木教育学習課長

教育部会は部会長に土田稔委員、副部会長に大井仁史委員を選任いたしました。

●三浦産業課長

商工部会は部会長が佐藤公委員、副部会長に茂木美寶子委員を選任しました。農林畜産部会は部会長に土田長夫委員、副部会長に土田克夫委員を選任しました。

●佐々木建設課長

建設部会は部会長に佐藤久美委員、副部会長に菅原賢一委員を選任しました。

●伊豆振興課長

振興部会は部会長に正木正会長、副部会長に佐藤孝義副会長を選任しました。

●会長

ありがとうございます。部会での協議にむけて進んでいただきたいと思います。今後は各部会毎に議論していただいた内容のまとめ等あろうと思います。あるいは部会長皆様をお呼びして総括的なご意見を聞くという機会もあろうかと思います。部会の議論の進行状況を見極めながら判断してまいりたいと思います。よろしくお願いします。次に今後の日程調整をしながら課題解決に向けて活動をお願いしたいと思います。

●I委員

確認させてください。追加委員を選任した後のことですが、各部会委員が決めただけでなく各部会で人選したの後に正式に市役所のほうから委嘱する予定ですよね。

●伊豆振興課長

会長名でお願いし、本人承諾を得てから委嘱すると予定です。

●会長

事務的に質問等ありましたらお願いします。他にございませんか。なければ次に進みたいと思

います。

その他の関係で在京矢島会のふるさと訪問団について説明願います。

●伊豆振興課長

説明も兼ねてご報告いたします。先日在京矢島会の木村会長が支所に見えまして、今年が在京矢島会設立55周年にあたることから在京矢島会でふるさと訪問団を予定しているとのことでした。

内容ですが、初日は八朔祭り宵宮の日の朝にバスで本荘につき、由利高原鉄道で矢島に入って休憩し、その後中高連携広場に55周年記念植樹をして、それから交流会をし、矢島の歴史的な町歩きをし、それから各自ご実家に帰って宵宮を9時半から10時頃まで見学する。次の日は宿泊先のユースプラトーを11時に出発し、内容は調整中ですが矢島の観光をする内容で検討しております。これから地域協議会委員皆様にもご協力いただきながら在京矢島会と調整していくかもしれませんのでその時はよろしく願います。以上です。

●会長

在京矢島会ふるさと訪問団の件について報告がありました。その他の案件になりますが鳥海山ろく線運営促進連絡協議会の事務局会議が今日午前10時からありましてその説明をお願いします。

●振興課 三森課長補佐

振興課三森でございます。鳥海山ろく線運営促進連絡協議会の事務局を矢島総合支所振興課で行なっております。会長は正木会長となっております。当協議会におきまして由利高原鉄道利用促進シンポジウムの開催を計画しております。ただいまお配りできるような段階の資料はございません。大変もうしわけございませんが事務局会議の資料をお配りさせていただいております。大変恐縮ですがご了承願います。

開催案といたしましては6月29日（金）午後2時30分からということでございます。場所は由利地域の善隣館でございます。それからテーマといたしまして鳥海山ろく線の利活用拡大計画を考えております。それからサブテーマといたしまして地域を結ぶ鉄道の役割と地域づくりとの連携ということでございます。パネラーといたしましては東日本旅客鉄道株式会社羽後本荘駅駅長高橋様、由利高原鉄道株式会社代表取締役社長春田様、森子大物忌神社文化保存会会長多田様、あかつき観光サービス株式会社代表取締役社長真坂様、それからコーディネーターといたしまして矢島総合支所長佐藤晃一ということで計画をしております。開催公演等の依頼をしておりますがまだ決定ではございません。あくまでも予定ということでございます。さらに鉄道利用支援協力者、あるいは環境整備等支援協力者への感謝状の贈呈等も計画しております。是非委員皆様にもご参加いただければということで後ほどご案内を差し上げたいと考えておりますのでよろしく願います。以上です。

●会長

ありがとうございます。地域協議会委員皆様にもご案内差し上げる予定ですので極力日程調整をしてご参加願います。その他の件でほかにご意見ありますか。

●C委員

時間のないところ恐縮でございますが、矢島地域全体に関わることでありますのでふたつほどお願いしたいと思います。

昨年12月20日頃に自主防災組織の件が唐突に出てきまして、12月20日までに組織化ということで各集落が役員会や総会等かなり悩みながら組織化したところが多かったようです。この認定証が市長から各防災会の会長宛てに届くことになっていたはずですが、いまだにきておりません。これは全市では全部結成されていないので全部揃ってからという考え方も

しませんが、5ヶ月も過ぎておりますので各地域ではそろそろ防災訓練とかやるところも出てくると思います。例えば私の集落では4月に役員が代わり新しい体制になりましたが認定証があるのか無いのかで役員はじめ気持ちの入り方が違います。組織化したところだけでも早く交付していただきたい。

ふたつめになりますが、地域協議会として矢島地域全体の認識として調べておいてほしいのが入会権に基づく縁故部落への収益交付になります。宮塚町長時代に土地代金いわゆる離農開墾で県や国等から土地代が矢島町に入ってくるとその10%を入会権のある各部落に交付しておりました。それが由利本荘市に引き継がれているかどうかということの確認をお願いします。大正12年の部落有財産統一条件にはこの10%交付は記載されておられません。何を根拠に10%を交付しておったのかというようなこともわかる職員が次々退職されていますので地域協議会としても確認する必要があるのではないかと思います。今日は回答できないと思います。調べていただいて後日回答願います。以上です。

●伊豆振興課長

自主防災組織の設立について昨年12月皆様にお申し送りして、それぞれ設立していただいております。現在矢島地域におきましては4集落がまだ未設置という現状です。今日もその集落に設立をお願いして検討していただくことにしております。先日開催された振興課長会議では本荘地域の設置状況が非常に遅れている報告がありました。これにより認定証交付が遅れていると推察されますが、危機管理課に地域協議会からの意見として伝えたいと思います。関連しますが新所自主防災組織から今回の津波被害地を視察したいという申し出があり、27日に40数名で釜石市の視察を行っております。以上です。

●佐藤総合支所長

C委員からいただいた入会権の取り扱いについてですが、先輩職員やC委員はじめ関係集落から事情を聞き取りし引き継ぎ状況の確認や調査をさせていただきます。

●会長

他にございませんか。では私からの質問ですが、4月4日に堆肥センターが暴風被害を受けたと聞いています。今堆肥センターは稼働はしていますか。

●三浦産業課長

堆肥センターは屋根が3分の1程トタンが剥がれ、雨が堆肥に入って製品にならない被害がありました。先週やっと屋根にビニールシートを張る応急処置が終わり、機械を動かしまして少しでも乾くように努力しております。あまり雨をかぶらなかった堆肥は少し固めですが販売しておりますのでご利用いただきたいと思います。今後トタンを張る本工事にかかる予定で進めています。

●会長

近いうちに本来の生産体制にもどるということですね。

●三浦産業課長

今までの生産体制に戻るには若干時間がかかります。

●会長

今有機栽培は重要視されており、ちょうど田植えも終わりこれからハウス栽培で利用される時期ですが、矢島の堆肥センターの堆肥は特に良質と評価を受けておりますのでできるだけ早く体制を取り戻してほしいという要望内容でした。今説明受けた生産活動の見通しを報告をしておきます。

●三浦産業課長

現在の堆肥は湿度は若干多いですが質には影響ありません。変わらず良質ですので購入いただ

きたいと思います。

●会長

今販売できる製品はありますか。

●三浦産業課長

あります。ただ湿度が若干多く重いということでもあります。

●会長

他にございませんか。なければ地域協議会を閉じたいと思います。よろしいでしょうか。

これから委員皆様には大変ご難儀かけますが将来のまちづくりのためにご薫陶をお願いしたいと思います。長時間ありがとうございました。